

幸せのかたち創造委員会 事業報告

委員長 島貫 征之

本年度、幸せのかたち創造委員会では、生活の多くを労働で占める現代の市場社会のなかで、市民一人ひとりが「本当の幸せ」について考え、今ある生き方と働き方を自ら見つめ直す事業を行いました。また、本年は、浦安市長選挙や衆議院選挙といった政治選択の機会が多く、若い世代を中心とした市民の政治参画意識を醸成する事業を行いました。

まずは、3月その他事業にて、「次代を創る公開討論会～若い世代が希望を持つ輝き続ける浦安に～」を開催しました。明海大学を中心とした学生ボランティアを募り、自らまちの課題を抽出し、次の市政への希望を胸に候補者への質問内容を協議しました。そして、浦安市長選挙公開討論会の場にて登壇し、直接候補者に質問しました。その堂々とした姿に参加された方々からは、浦安の未来に希望を持てたという嬉しいお声を多数頂きました。

そして、6月第一例会では、「父の日プレゼンツ『ハッピー×クエスト』～時間の花をみつけよう！～」を開催しました。市民一人ひとりが「本当の幸せ」について考えるために、ドキュメンタリー映画のプロデュースなどで知られる清水ハン栄治氏をお招きし、死をポジティブに考えた上で、自分にとって何が一番幸せなのかを考えました。また、影絵ミュージカルN I J Iにより『モモ』を上演し、時間の大切さを感じることができました。子ども達が作った「時間の花」は父の日のプレゼントとし、これからも時間を大切に過ごすことを約束しました。参加者にとっては、今ある生き方を見つめ直す機会となりました。

さらに、9月第一例会では、『家族の幸せがまちの幸せ運動』～私たちが進める働き方改革～を開催しました。家庭で過ごす時間が圧倒的に少ない市民一人ひとりの家庭での時間を創出し、自ら働き方を変革する意識を醸成するために、NPO法人子育て学協会の山形照恵氏をお招きし、ファミリービルディングという自分達らしい家族を形成する考えのもと、ワークショップを行いました。また、家族が向き合う「家族会議」を定期的に関くことで、自ら働き方を変革する意識を醸成しようと家族会議の進め方をレクチャーしました。参加者からは、家族会議を継続していきたいというお声も頂き、ひとつの運動を作り上げることができました。

そして、10月その他事業では、浦安市民まつりにてブース出店を行い、JC運動の意義を広く市民に発信し、今後のJC運動への期待感を得ることができました。

最後に、本年度のまちづくり事業を実施することができたのは、それぞれの事業においてご協力頂いた講師の皆様、各種団体、企業、行政の皆様、運動に賛同頂きましたOB・OGの皆様のおかげであると感じております。心より感謝申し上げます。そして、一年間委員会を支えてくださった委員会メンバーの皆さん、委員会の垣根を超え、事業に協力頂いたLOMメンバーの皆さんに心から感謝の意を表し、事業報告とさせていただきます。

一年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございます御座いました。